

2020年3月期 決算説明資料

2020年5月29日
ニチバン株式会社
代表取締役社長 高津 敏明





目次

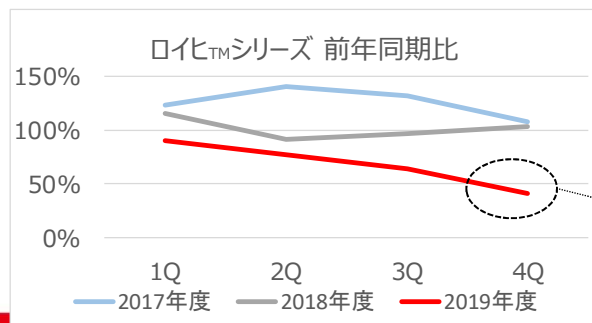
1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響
2020年3月期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 今期（2021年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

新型コロナウイルス感染拡大の影響

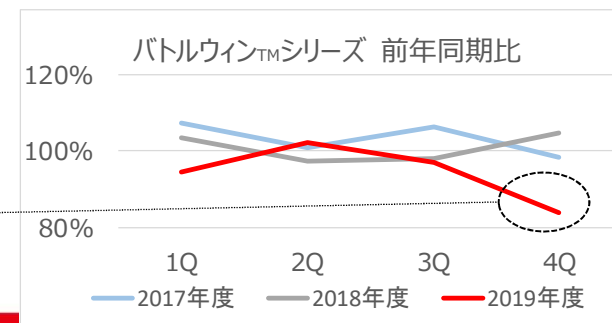
2020年2月後半以降、世界的に大規模な経済・社会活動の制限が実施され
弊社事業も大きな影響を受け、現在なお継続しています。

区分	状況※弊社事業に関連するもの
生活・消費関連	学校休校、外出自粛 オフィス勤務減少、在宅勤務増加 部活動・レジャー自粛 スポーツイベント中止 東京五輪/パラリンピック延期 訪日外客数・インバウンド消費激減 ヘルスケアフィールド2製品の売上減少に直結 上期は回復見込めず インバウンド消費：ロイヒ™シリーズ スポーツ・部活動：バトルウィン™シリーズ
産業・医療関連	医療施設の逼迫、非緊急治療の延期・受診減少 各種店舗の営業休止、営業時間短縮 自動車工場等の操業停止

参考：ヘルスケアフィールド 上掲2製品の四半期推移



2019年度4Qに急減
3月単月・今期4月では
さらにダウ傾向強まる



損益概要

(通期)

売上高減収 $\triangle 7.1\%$

営業利益減益 $\triangle 19.2\%$

粗利益額減 (粗利益率は上昇)
販管費増

当期純利益減益 $\triangle 45.1\%$

営業利益額減、当期に土壌対策費の特別損失
前期に補助金収入の特別利益を計上

(単位：億円)

	2019年3月期		2020年3月期		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
売上高	474.2	100%	440.6	100%	$\triangle 33.6$	$\triangle 7.1\%$
売上総利益	154.3	$\triangle 32.5\%$	148.8	$\triangle 33.8\%$	$\triangle 5.5$	$\triangle 3.5\%$
販管費	117.5	24.7%	119.0	27.0%	1.5	1.4%
営業利益	36.8	7.8%	29.8	6.8%	$\triangle 7.0$	$\triangle 19.2\%$
当期純利益	31.9	6.7%	17.5	4.0%	$\triangle 14.4$	$\triangle 45.1\%$
R O E	9.2%		4.8%		$\triangle 4.4p$	

(事業別売上高)

メディカル事業	204.6	43%	186.7	42%	$\triangle 17.9$	$\triangle 9\%$
テープ事業	237.2	50%	222.5	51%	$\triangle 14.7$	$\triangle 6\%$
海外事業	32.4	7%	31.4	7%	$\triangle 1.0$	$\triangle 3\%$

損益概要

(四半期毎)

1Q 減収・減益

2Q 減収幅縮小・利益は微増益転換

3Q 再び減収・減益傾向強まる

4Q 減収・減益幅さらに拡大

(前期2Qは自然災害・天候不順によるマイナス影響あり)

(当期2Q以降にインバウンド減、3Q以降に消費増税後の経済減速、4Qに新型コロナウイルス感染拡大影響あり)

(単位：億円)

	1Q			2Q			3Q			4Q		
	金額	前期比		金額	前期比		金額	前期比		金額	前期比	
		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率		増減	増減率
売上高	104.9	△8.4	△7%	118.0	△1.9	△2%	114.1	△9.8	△8%	103.6	△13.5	△11%
売上総利益	36.7	△0.4	△1%	40.1	1.4	4%	39.4	△2.4	△6%	32.6	△4.0	△11%
販管費	29.3	1.5	5%	31.2	0.7	2%	29.6	△1.0	△3%	28.9	0.5	2%
営業利益	7.4	△1.9	△20%	8.9	0.7	9%	9.8	△1.4	△13%	3.7	△4.5	△55%
当期純利益	3.4	△2.8	△46%	6.3	0.8	14%	6.9	△1.3	△16%	0.9	△11.0	△93%

(事業別売上高)

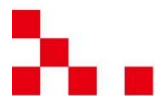
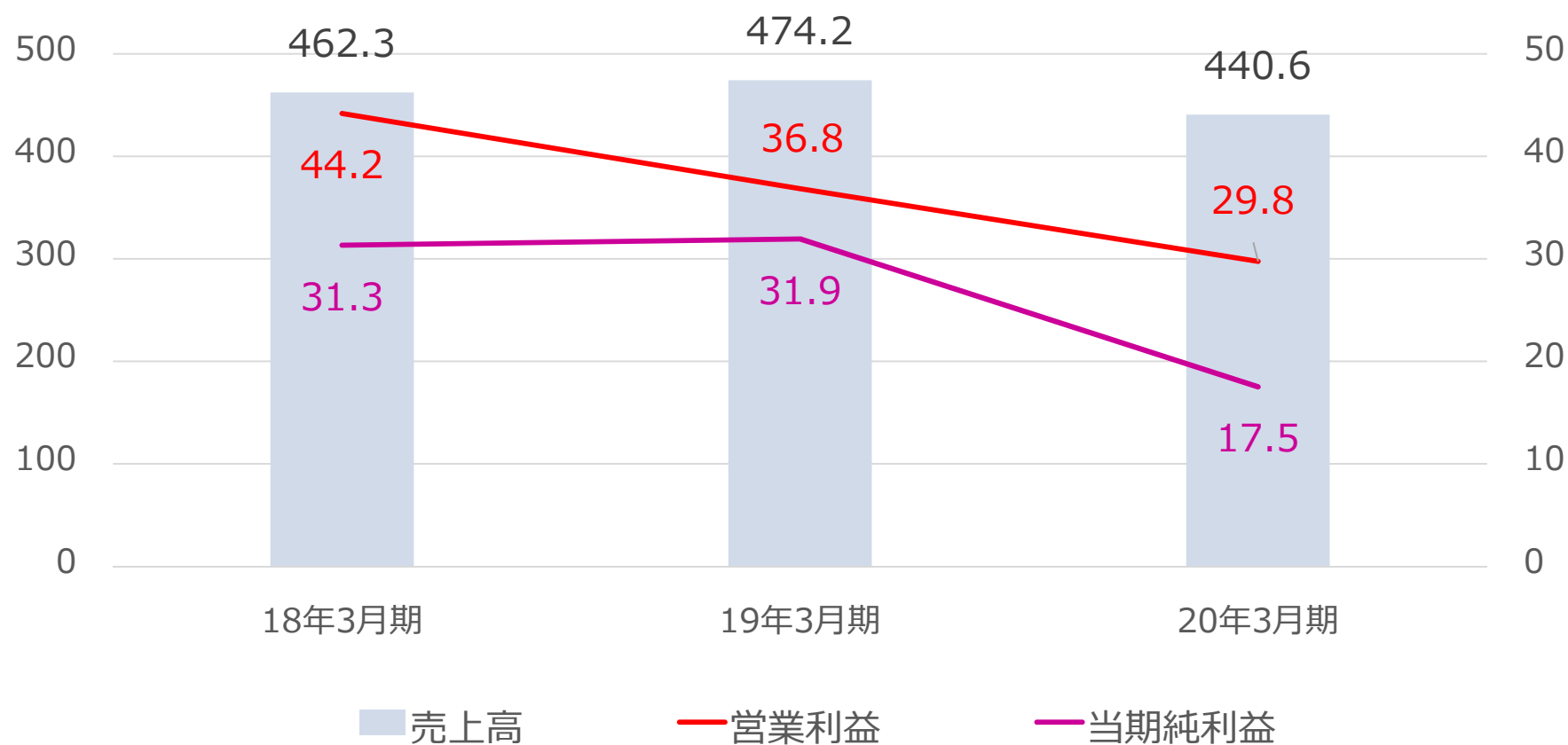
メディカル事業	47.4	△3.7	△7%	51.1	△0.9	△2%	48.5	△5.2	△10%	39.7	△8.1	△17%
テープ事業	50.2	△4.6	△8%	58.4	△0.8	△1%	58.6	△4.4	△7%	55.3	△4.9	△8%
海外事業	7.3	△0.1	△2%	8.5	△0.2	△3%	7.0	△0.1	△2%	8.6	△0.5	△6%



損益推移

(単位：億円)

直近3期 売上高・営業利益・当期純利益



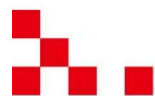
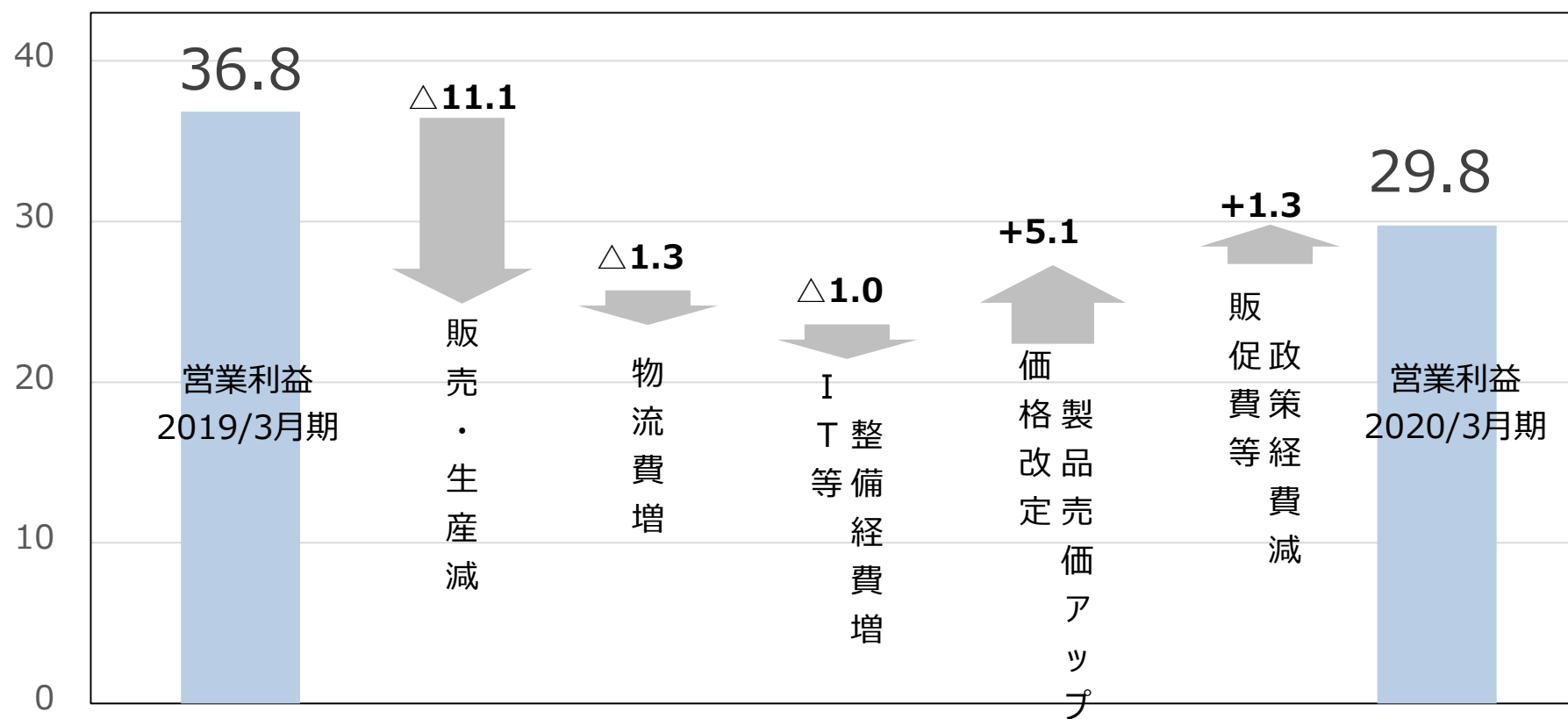


営業利益増減

減益 7.0 億円

販売・生産減、販管費増、売価アップ

(単位：億円)



バランスシート

流動資産：売上債権減少（売上減、前期末の休日影響）

流動負債減少（設備未払金、一年内返済予定の長期借入金）

固定負債増加（長期借入金）

（単位：億円）

	2019年3月期末 (2019年3月31日)		2020年3月期末 (2020年3月31日)		増減
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	324.3	53.8%	334.2	55.9%	9.9
現預金・有価証券	82.3	13.6%	118.8	19.9%	36.5
売上債権	156.3	25.9%	128.1	21.4%	△28.2
棚卸資産	79.0	13.1%	84.3	14.1%	5.3
その他	6.7	1.1%	3.0	0.5%	△3.7
固定資産	279.0	46.2%	263.3	44.1%	△15.7
資産合計	603.3	100%	597.5	100%	△5.8
流動負債	174.6	28.9%	141.7	23.7%	△32.9
固定負債	63.9	10.6%	83.6	14.0%	19.7
負債合計	238.5	39.5%	225.3	37.7%	△13.2
純資産合計	364.8	60.5%	372.2	62.3%	7.4
負債・純資産合計	603.3	100%	597.5	100%	△5.8



設備投資・減価償却費

設備投資 : 減少 (前々期は医薬品新工場完成)

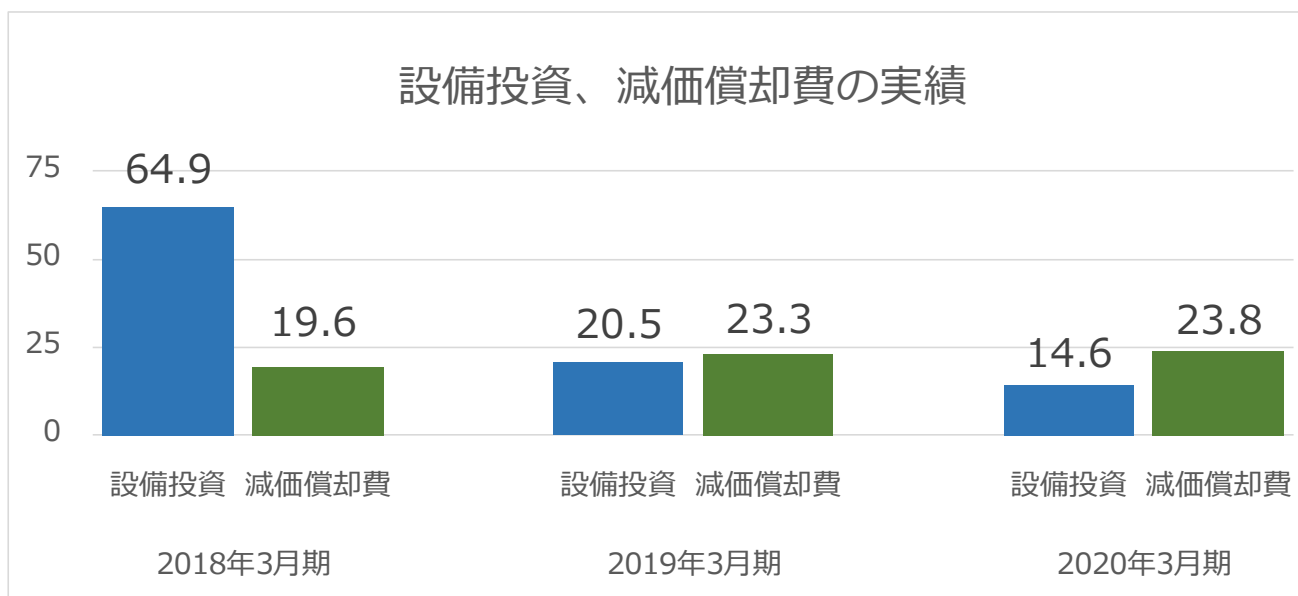
減価償却費 : 横ばい

(単位：億円)

当期主要投資

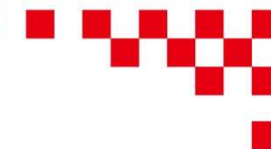
- メディカル安城工場
建屋空調・給排気設備
- ニチバンメディカル
医療機器製造設備
- テープ安城工場
テープ裁断包装機整備
- 埼玉工場
粘着剤製造設備
- その他
IT投資

設備投資、減価償却費の実績





キャッシュフロー



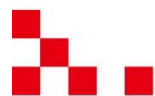
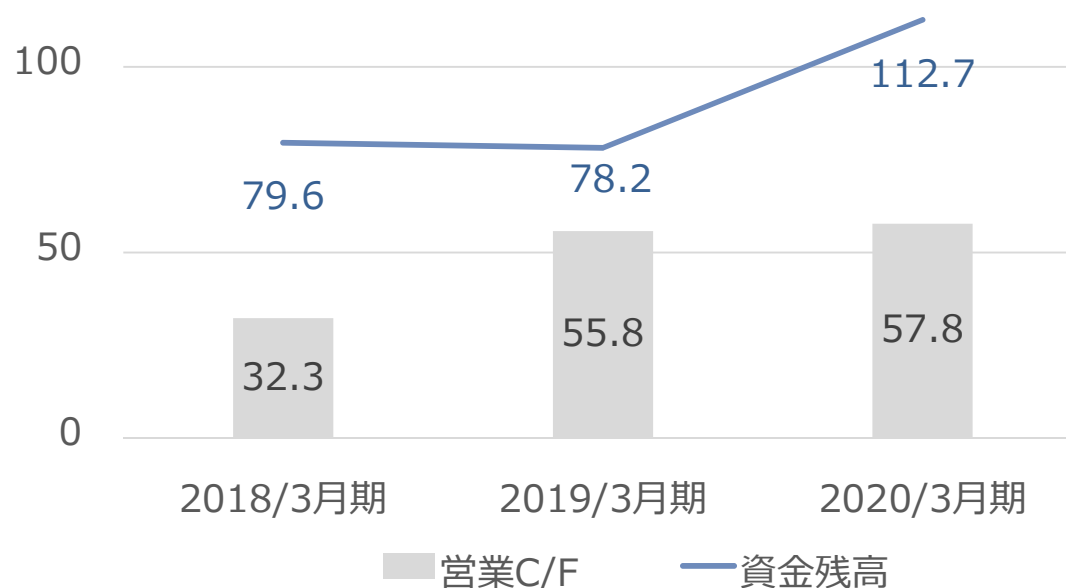
	2019/3月期	2020/3月期	
	実績	実績	増減
営業活動によるC/F	55.8	57.8	2.0
投資活動によるC/F	△47.4	△14.1	33.3
フリーC/F	8.4	43.7	35.3
財務活動によるC/F	△9.8	△9.2	△0.6

(単位：億円)

フリーC/F・資金残高増加
(新工場投資完了)

主な増減項目

- 営業C/F
 - ・売上債権の減少
- 投資C/F
 - ・有形固定資産の取得





目次

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響
2020年3月期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 今期（2021年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

当グループを取り巻く環境（2020年3月期）

共通		<u>消費増税後の経済・消費減速感の強まり</u> 新型コロナウイルス感染拡大による世界的な経済・社会活動の制限
メディカル事業	ヘルスケア	大手ドラッグチェーンの業務提携・資本提携進展 インバウンド消費 韓国訪日客の大幅減 、4Q後半の訪日客全体の大幅減
	医療材	<u>医療現場の感染予防</u> 安全性に対する意識の高まり 医療費抑制の流れによる医療材料調達コストの削減 共同購入の加速
テープ事業	オフィスホーム	法人需要・学童向け需要の減少継続 卸売/小売業の取扱い品目多様化とPB商品の拡大、店舗形態の多様化
	工業品	中国半導体不況等に伴う電子部品関連生産の大幅減 <u>自然災害・天候不順</u> による農産物の収量低下
海外事業		<u>東アジア情勢不安</u> 生産・消費活動への懸念 <u>米中摩擦</u> 輸出関連産業の停滞と経済全体への波及

事業フィールドレビュー [売上高]

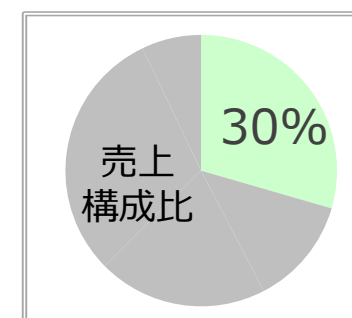
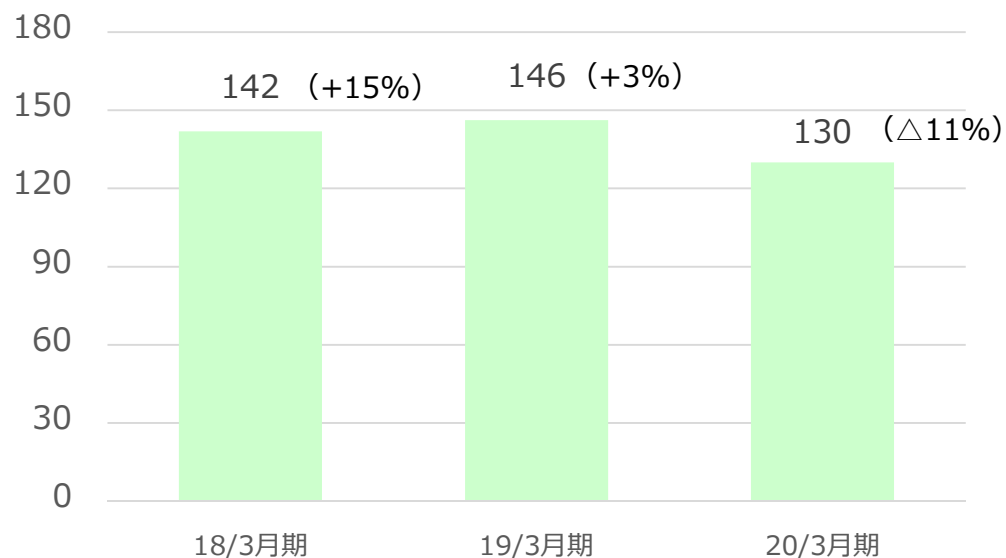
(単位：億円)

	2019年3月期		2020年3月期		前期比
	金額	構成比	金額	構成比	
ヘルスケア	146	31%	130	30%	△11%
医療材	58	12%	57	13%	△3%
メディカル事業	205	43%	187	42%	△8%
オフィスホーム	94	20%	89	20%	△5%
工業品	143	30%	133	30%	△7%
テープ事業	237	50%	222	50%	△6%
海外事業	32	7%	31	7%	△3%
全社	474	100%	440	100%	△7%

事業フィールドレビュー [メディカル；ヘルスケア]

(単位：億円)

ヘルスケアフィールド 売上高



●主要製品の状況

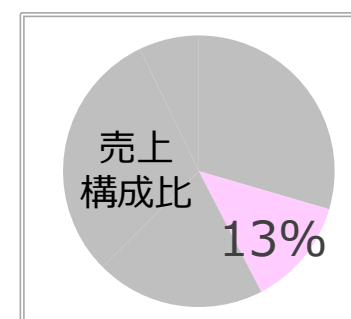
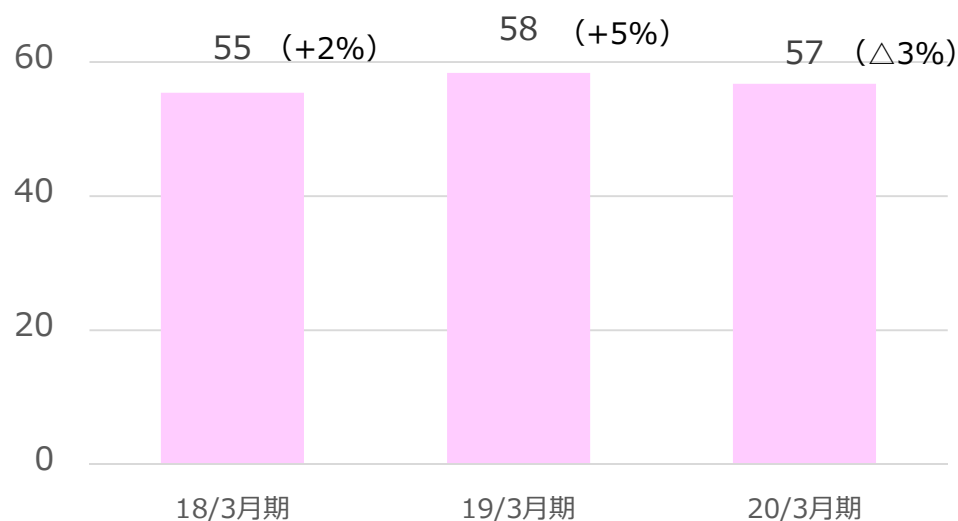
ケアリーヴ™	前期比 +3%	1Qは前期並み 2,3Qに拡大も4Q不調 一般タイプ、治す力™防水タイプ好調
ロイヒ™	前期比△31%	国内一般消費はプロモーション成果もあり増加 インバウンド消費が大幅減

- ケアリーヴ™ 消費者キャンペーンやテレビCMを中心とした大型プロモーション実施・新サイズ拡充
- ロイヒつぼ膏™ テレビCMによる認知拡大に注力
- 中国向けインバウンド施策 Webプロモーションを中心に実施

事業フィールドレビュー [メディカル ; 医療材]

(単位 : 億円)

医療材フィールド 売上高



●主要製品の状況

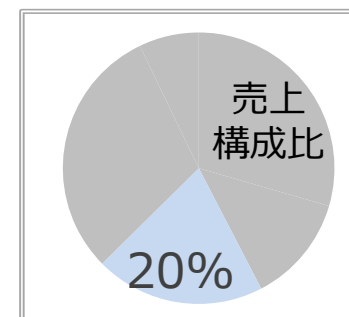
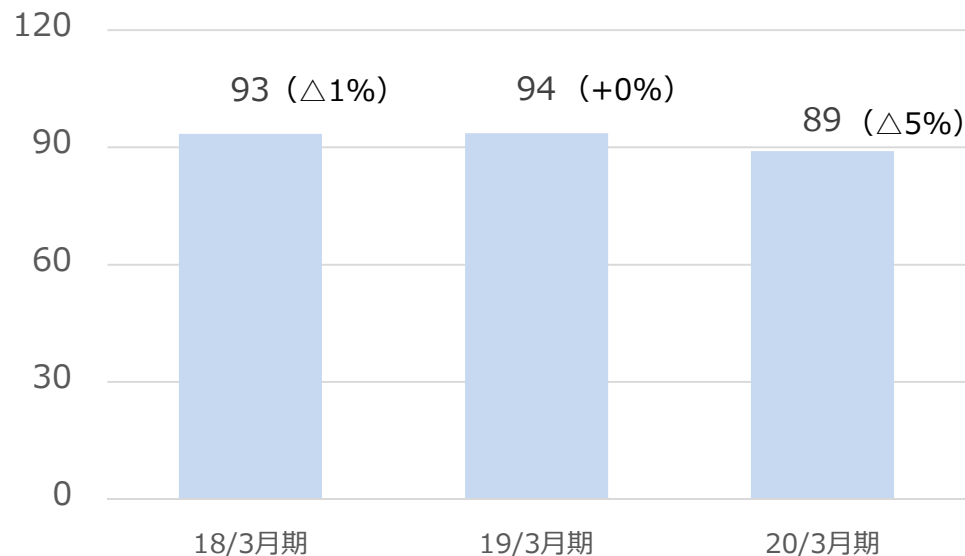
巻絆創膏	前期比△3%	低刺激品「スキナゲート™」が好調 汎用タイプは病院の調達コスト削減に苦戦
止血バン (セサブリック™)	前期比+0%	採血後の感染予防・安全意識に訴求 廉価競合品との競合のなか好調に推移
ドレッシング	前期比+0%	高透湿性ドレッシング「カテリープラス™」が順調に採用も全体では前年並み
術後ケア (Ascablic™)	前年比+25%	産科、外科領域での堅調
医療用貼付剤 (受託生産品)	前期比△33%	生産委託先からの受注減

- 低刺激・高透湿による付加価値を訴求
- 医療現場の安全・効率的な処置提案に向けた学術機能充実、学会出展およびセミナー開催
- 「術後ケア Ascablic™」は患者QOL向上の高評価もあり伸張、好調持続

事業フィールドレビュー [テープ ; オフィスホーム]

(単位 : 億円)

オフィスホームフィールド 売上高



●主要製品の状況

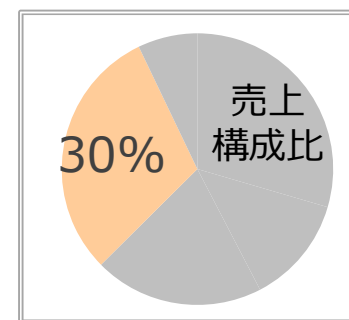
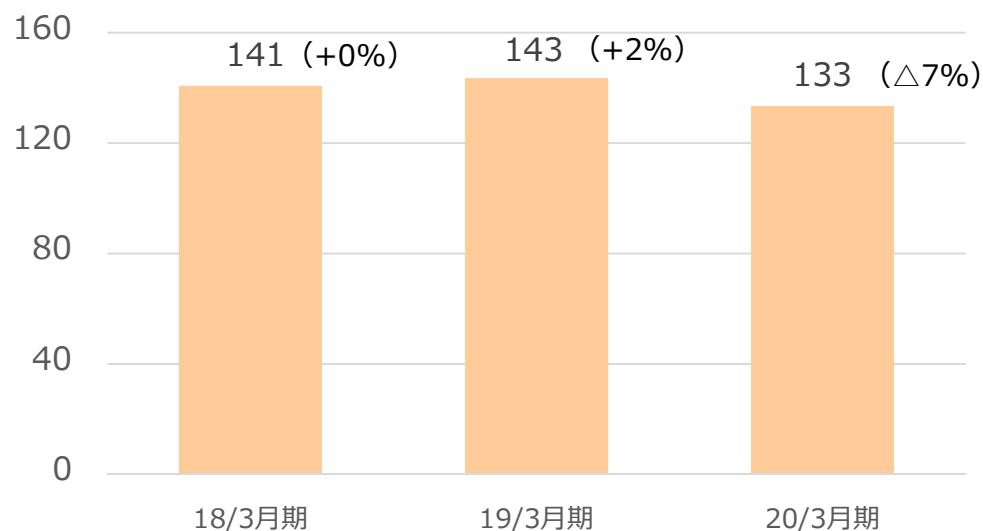
セロテープ®	前期比△2%	小巻カッター付きのニューアルでの活性化実現も品群全体では減少
ナイスタック™群	前期比△3%	両面テープ維持もテープのり等で減少

- パーソナルユース拡大に向けて「顧客の使用シーン提案」を機軸としたマーケティング強化新規開拓を推進
- 家庭用製品展開 キッチン雑貨ブランド「ディアキチ™」の販路拡大・定着・育成推進
- 主要品群の価格改定にて利益性向上

事業フィールドレビュー [テープ ; 工業品]

(単位 : 億円)

工業品フィールド 売上高



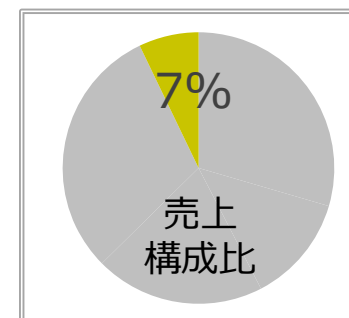
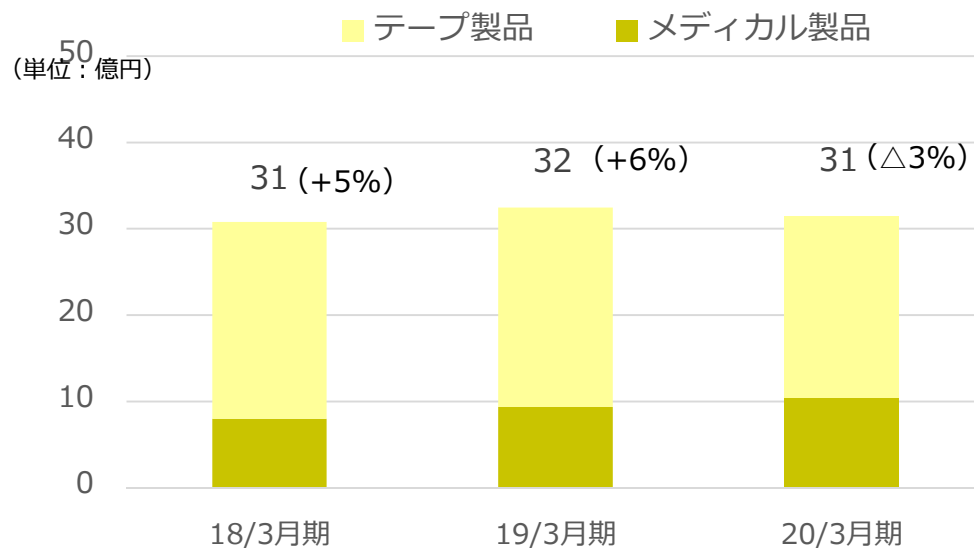
● 主要製品の状況

包装用テープ	前期比△9%	セロテープ®及びクラフトテープ価格改定 通期での市況低迷、他社品切替により減少
マスキングテープ	前期比△4%	消費増税後の鈍化に加え、コロナ影響にて低迷
野菜・結束テープ	前期比△5%	たばねら™ が台風など自然災害による野菜流通量減少の影響を受け大きく減少

- 惣菜容器用フードパックテープ™が大手スーパー等採用により拡大
- セロテープ®は従来の「主原料は天然素材」に加え、セルロース素材の「脱プラ」訴求を検討
- 電気部材用テープは中国半導体不況・米中貿易摩擦の影響を受け大幅減
- 顧客密着をベースとした新規課題探索・提案活動推進

事業フィールドレビュー [海外]

海外フィールド 売上高



●主要エリア

アジア	前期比△11%	日韓関係悪化、香港デモ長期化 コロナウイルス影響
欧州	前期比+7%	和紙マスキング増

●重点製品

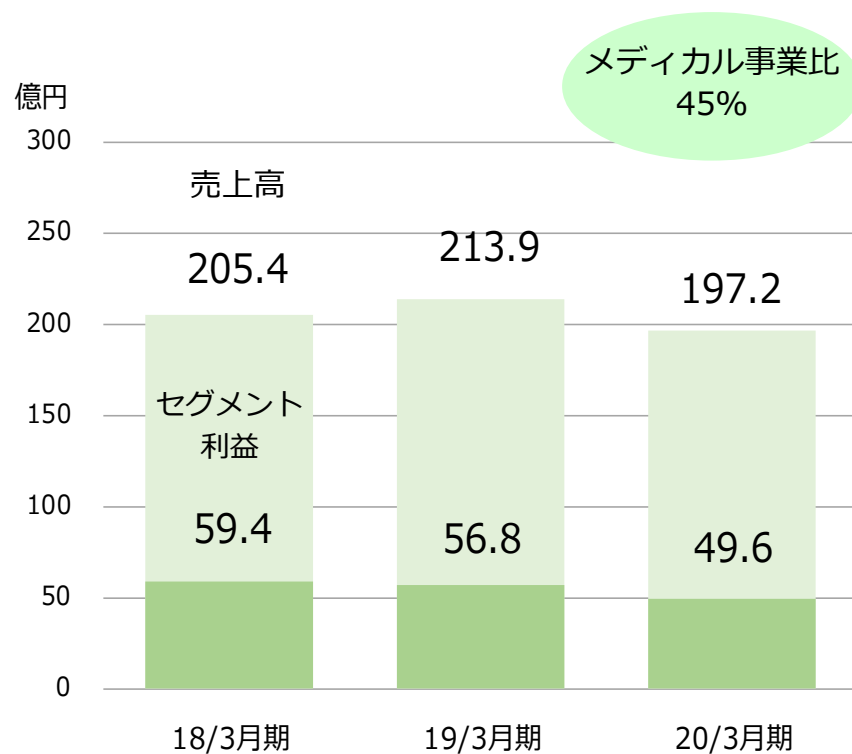
ケアリーヴ™	キャラクター導入	前期比+12%
止血製品 Cesablic™	育成継続	前年比△2%
和紙マスキングテープ	欧州向け好調	前期比+22%
Panfix™ セロハンテープ※	東アジア情勢不安	前期比△16%

- ケアリーヴ™、止血製品 Cesablic™ はアジア・欧州市場に向けて新規拡大に注力
- 和紙マスキングテープは欧州市場に向けて建築塗装用途での販売に注力
- 事業拡大施策のスピードアップが大きな課題

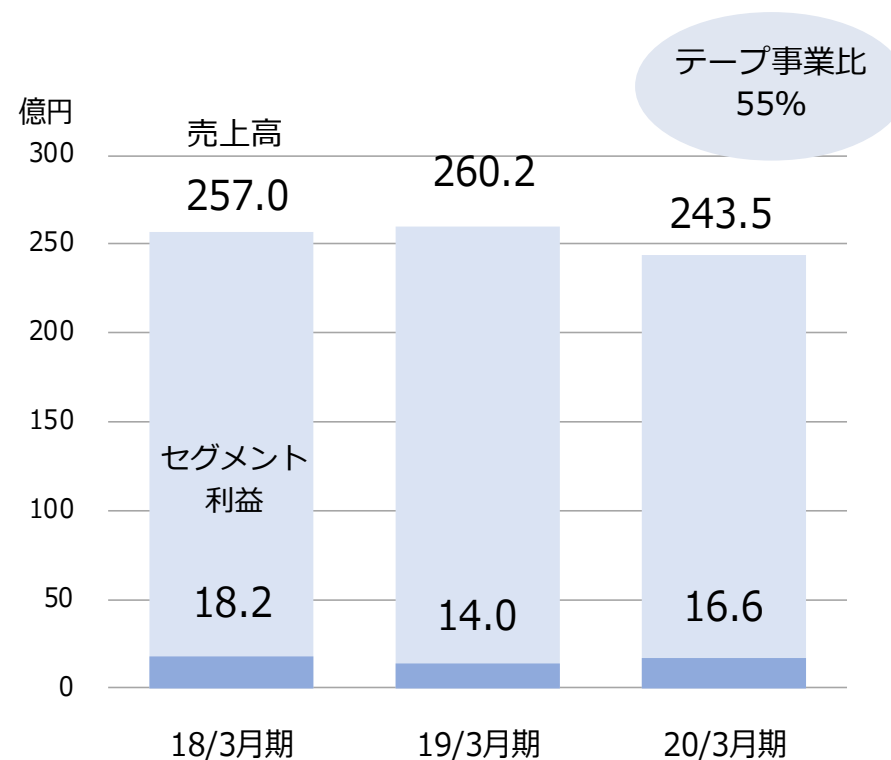
※海外向けセロハンテープ

参考：セグメント情報

メディカル（海外売上を含む）



テープ（海外売上を含む）





目次

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響
2020年3月期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 今期（2021年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

2021年3月期 業績予想

(単位：億円)

	2Q累計			通期		
	金額	前期比		金額	前期比	
		増減	増減率		増減	増減率
売上高	200.0	△22.9	△10.3%	通期予想は、下期(3Q以降)の合理的な算定が現時点では困難であるため未定としております。		
営業利益	8.0	△8.3	△50.9%			
当期純利益	6.0	△3.7	△38.3%			
(事業別売上高)						
メディカル事業	76.0	△22.5	△23%			
テープ事業	108.0	△0.6	△1%			
海外事業	16.0	0.2	1%			

2021年3月期に向けて

- ・救急絆創膏 ケアリーヴ™ シェア拡大
- ・鎮痛消炎剤 ロイ化™ 国内需要拡大
- ・battlewin™ テーピングテープ 新規需要創出
- ・Ascablic™ 『術後トータルケア』浸透推進
- ・セロテープ® 環境配慮製品訴求
- ・フードパックテープ™、ワザアリ™テープ 巣ごもり消費、中食・内食増加による食品関連需要の取り込み
- ・海外事業 事業基盤の確立と現地密着営業

2021年3月期に向けて①

救急絆創膏 ケアリーヴ™

国内売上は安定成長継続

シェア拡大推進

- ◆ トップブランド実現に向けて、高機能タイプ「治す力™」
TV/Web PR、ユーザーサンプリング、新製品拡充、チャネル施策実施

モイストヒーリング (湿潤療法)
でキズを治す

痛みをやわらげ
キズを早くきれいに
治したい時に



(共通)



鎮痛消炎剤 ロイヒ™

インバウンド大幅減により全体としては前期比マイナスの想定

国内消費者向け売上は堅調

- ◆ 国内向けWebプロモーション、ドラッグ店頭ユーザー・チャネル施策実施
- ◆ 新製品拡充



2021年3月期に向けて②

テーピング battlewin™

新テーピング市場 スポーツ用途と日常生活での需要創出に向けて
『けが予防、運動サポート』啓蒙

パートナー契約活用

「FC バルセロナ」

「日本スポーツ協会」

「JFA Youth & Development Programme」

- ◆ 競技参加団体へのアプローチ、トレーナー向け講習会開催
- ◆ キーパーソンとの関係性構築、ユーザー拡大



REGIONAL PARTNER OF FC BARCELONA



公益財団法人

日本スポーツ協会



BATTLEWIN FOR



BATTLEWIN FOR



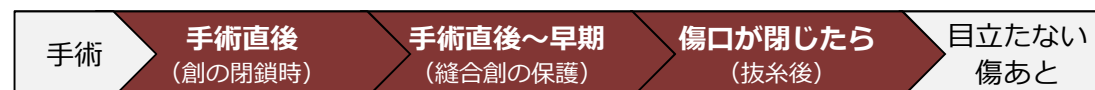
BATTLEWIN FOR

術後ケア Ascablic™

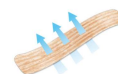
手術直後の傷のケアから

手術後の傷あと（傷口が閉じたあと）のケアまで
「目立たない傷あと」を目指してサポート

- ◆ 医療従事者向け勉強会・学会出展・エビデンス拡充
- ◆ 医療卸活用 病院・クリニックに展開
- ◆ 医療現場のニーズを取り込む新製品拡充
- ◆ 海外市場への展開も着手



FASNAHT™
ファスナート™



SURGIFIT™
サージフィット™



Ato fine+
アトファイン+



2021年3月期に向けて③

セロテープ® 主原料が天然素材であることの認知度を向上させ
大手ユーザーの使用を推奨

トピックス

「ソーシャルプロダクツ・アワード2020」大賞を受賞



“脱プラスチック”に貢献
天然素材原料を活用した
環境配慮製品

ソーシャルプロダクツとは、
エコやオーガニック、フェアトレードなど、人や地球にやさしい商品・サービスの総称
購入者がより良い社会づくりに関する行動や団体とつながることを可能にする



静電気の発生が
少なく紙を
吸い上げにくい

巻心は再生紙

焼却しても安心

ISO14001 認定の
国内工場生産

●石油系の透明テープとは基材が違います。

セロハンは、再生可能な植物資源である樹木（木材パルプ）を原料とした、天然素材のフィルムです。
粘着剤の主原料には天然ゴムや天然樹脂を、巻心には再生紙を使用しています。

フードバックテープ™、ワザアリ™テープ

巣ごもり消費、中食・内食増加による食品関連需要の取り込み

■食品容器包装 フードバックテープ™



■食品ロス削減 ディアキチ™ ワザアリ™テープ



2021年3月期に向けて④

海外事業基盤の確立
現地密着営業推進

止血製品 Cesablic™



STEPTY™ INJECTION PAD™



救急絆創膏 ケアリーヴ™



Atofine™



Panfix™ セルローステープ※

※海外向けセロハンテープ

デュッセルドルフ
駐在員事務所
2019.1～



ニチバン

NICHIBAN (THAILAND)

グローバル事業推進体制整備 現地密着営業を推進

- ◆ アセアン : NICHIBAN (THAILAND) CO.,LTD (タイ)
新規獲得・販売拡大中
- ◆ 欧州 : デュッセルドルフ駐在員事務所 (ドイツ)
販社化準備中 新規獲得に向けた調査活動実施

2020年2月～5月時点

新型コロナウイルス感染拡大のため、新規開拓活動を一部制限

製品	展開国・地域	取組み進捗状況
ケアリーヴ™	韓国	アイテム追加、拡大
	台湾	アイテム追加、拡大
	ベトナム	取扱店舗増加、拡大
	タイ	アイテム追加、拡大
Cesablic™	中国	販売継続も微減
	ヨーロッパ(EU)	既存展開国にて拡大
	オーストラリア	販売中、アイテム追加予定
和紙マスキングテープ	中国	新規導入にて育成開始
	ヨーロッパ(EU)	建築用途の販売回復
Panfix™ セルローステープ	香港	デモ影響にて停滞
	インドネシア	消費低迷にて停滞
	トルコ	新パートナーと育成開始
Atofine™	中国	新規導入にて育成開始
医家向ドレッシング材	ヨーロッパ(EU)	新規導入にて育成開始
ロイヒ™つぼ膏	中国(越境EC)	販売拡大中

トピックス ニチバングループ サステナビリティ 重要テーマ

ニチバングループは、「ニチバングループにかかわるすべての人々の幸せを実現します」という基本理念のもと、事業活動を通じて社会、自然との共生を目指し、ステークホルダーとともに持続可能な発展に貢献する取り組みを進めてまいります。また「サステナビリティ重要テーマ」として以下を掲げております。

本業	テーマ	主な取り組み	関連するSDGs	
	セロテープ®が天然由来の製品であることによる環境負荷低減への貢献	主な原料が天然素材であり、バイオマスマークを取得した、環境にやさしい循環型のエコロジー製品であることを訴求し、プラスチックフィルムなどを利用したテープとの差別化を行う	3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう
	絆創膏や止血製品による感染症予防への貢献	感染症予防に向けた止血製品の啓発活動	12 つくる責任 つかう責任	13 気候変動に具体的な対策を
	経皮吸収製剤を通じた医療への貢献	新たな経皮吸収製剤の開発し、疾病の治療や健康な生活の維持に貢献する	14 海の豊かさを守ろう	
	粘着テープの使用による家庭系食品ロス削減に向けた取り組み	食品の袋の封止めだけでなく、食材の購入日や調理日、消費期限などをテープに記入し、ラベルとして使用することで、食品ロスを防止する提案を行う		

本業以外 (テーマ)

環境

環境配慮製品の開発
環境負荷の低減
生物多様性保全活動

社会

製品の品質向上と安全の確保
ダイバーシティ推進と人材育成
労働安全衛生と社員の健康への対応

ガバナンス

コーポレートガバナンス体制の強化
コンプライアンス
リスクマネジメント
情報セキュリティの強化

第11回 ニチバン巻心 ECOプロジェクト



ニチバン巻心ECOプロジェクトとは

「ニチバン巻心ECOプロジェクト」は、みなさんの協力のもと粘着テープの巻心を回収し、資源として再利用するエコ活動です。集まった巻心は古紙回収業者に買い取ってもらいダンボールに再生。さらにその利益と、巻心の個数に応じたニチバンからの支援金を緑を守る2つの取り組みに役立てます。



1. マングローブの植樹



環境NGO「イカオ・アコ」に寄付してマングローブの植樹・メンテナンスに役立てます。プロジェクト開始からこれまでに約20万本のマングローブを植樹。すくすくと立派な森をつくっています。

◎ ①の植樹の様子はこちら

2. 「森のしずく」保全活動



島根県江津市、江の川流域で「森のしずく」保全活動を開始します。植林や間伐など適切な手入れを行うことで、空気や水をきれいにしたり、土砂災害を防ぐなど、森の本来の力を高める取り組みです。

◎ ②の植樹の様子はこちら

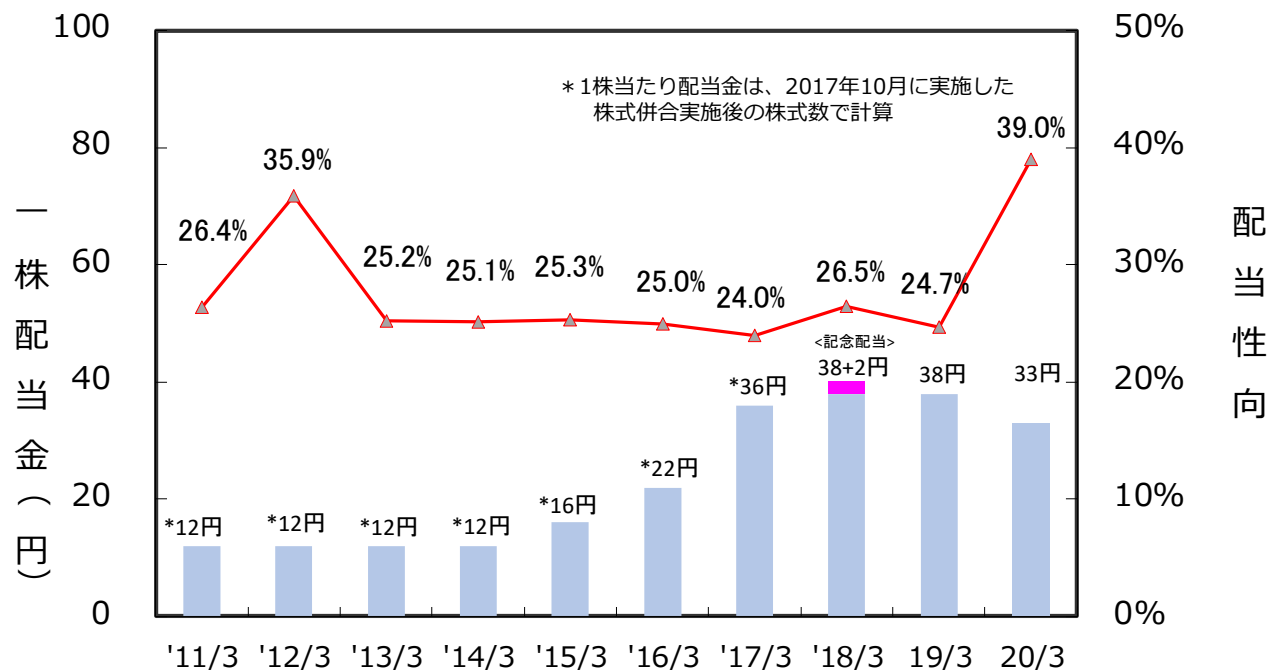
株主還元

安定した配当の実施を基本に 連結ベースの配当性向25%を目処とする
業績に連動した配当を継続する方針

2020年3月期：33円

2021年3月期予想：未定

1株当たり年間配当金と配当性向



●株主優待制度



贈呈内容の例

1単元（100株）以上を保有する株主様を
対象に当社製品詰合せ（3000円相当）を贈呈



目次

1. 新型コロナウイルス感染拡大の影響
2020年3月期 決算概要
2. 事業フィールドレビュー
3. 今期（2021年3月期）の見通し
4. 中期経営計画
【ISHIZUE 2023 ～SHINKA・変革～】

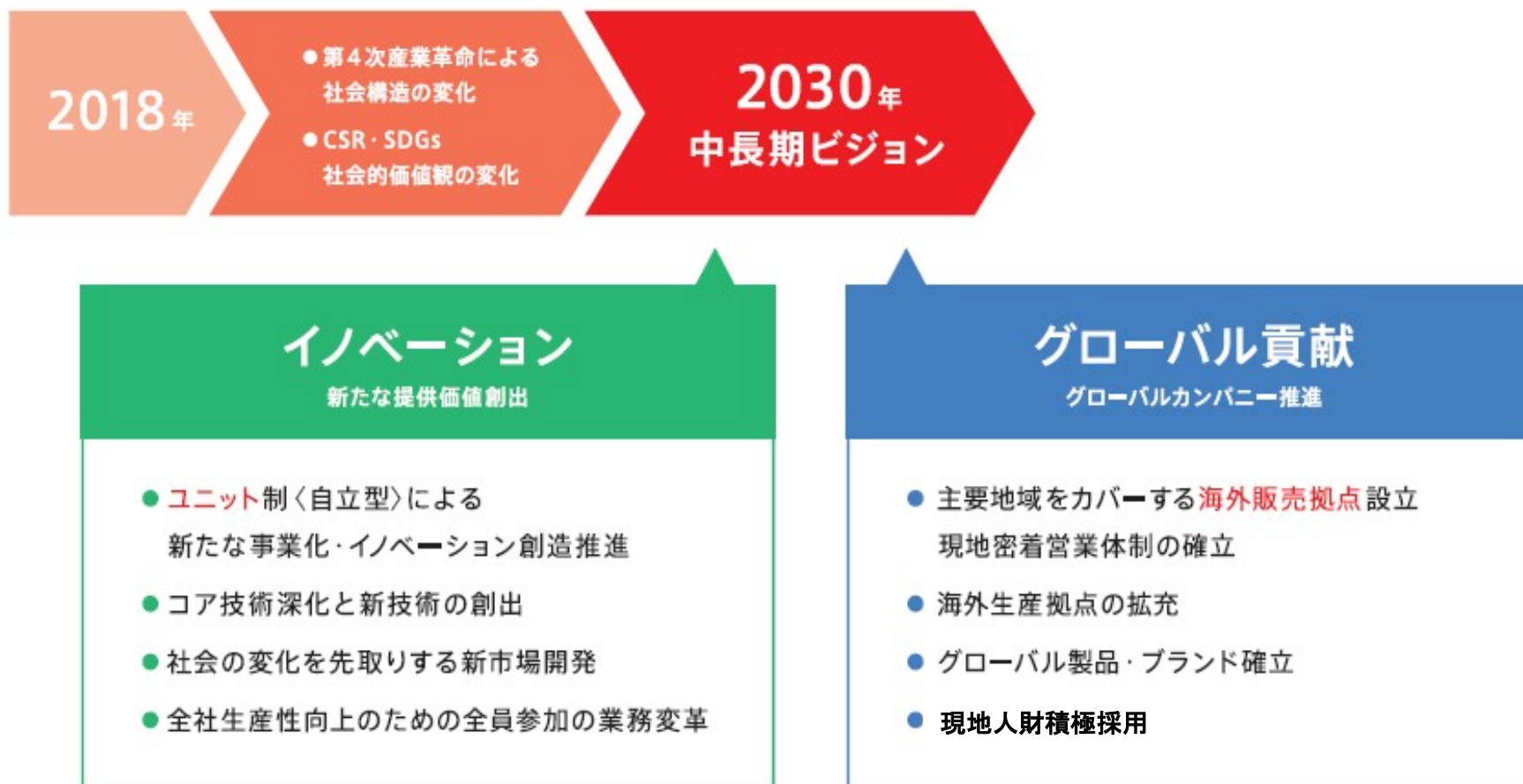
NICHIBAN GROUP 2030 VISION

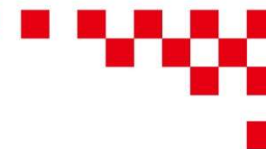
20**30**年度 快適な生活を支える価値を創出し続け グローバルに貢献する企業へ！

新製品比率 **30%** ・ 海外比率 **30%**



NICHIBAN GROUP 2030 VISION

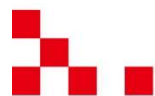




〈中長期ビジョン実現に向けて〉

NICHIBAN GROUP 2030 VISION 実現の**礎**となる

「**進化・深化**」と「**変革**」の5ヶ年計画とする



中期経営計画

取組み重点テーマ



中期経営計画

取組み重点テーマ推進内容

イノベーション創出

コア技術の深堀り、オープンイノベーション協同取組み推進

2020年度組織改定 **イノベティブな研究開発・製品設計体制の確立**

TDS・TRD推進ユニット、設計部署（MDC・TDC）を研究開発本部傘下とし
研究開発資源の最適配分を図る

グローバル展開・拡大

アセアン・中国 新規市場開拓、**ドイツ販社化準備**

NICHIBAN THAILANDによる現地密着営業推進、新規開拓
中国市場の開拓 大規模病院施設へのメディカル製品導入推進
デュッセルドルフ駐在員事務所の販社化を準備中

海外販路拡大のための**戦略的パートナー探索調査、選別（業務提携・M&A）**

事業推進体制見直し 収益改革

不採算品の集約、価格改定による収益性改善

2020年度組織改定 **EC・企業協業推進体制の強化**

専任部署としてEC特販営業部をテーブ事業本部配下に設置

サステナブル（持続可能）な社会への貢献に向けた **SDGs 取組み推進**

「サステナビリティ重要テーマ」策定、脱溶剤化、無溶剤新製品開発を推進

AI・IoT積極活用

基幹システム刷新と業務プロセス改善

戦略的データ活用と社内業務生産性向上に向けた**IT基幹システム**導入開始

人財育成

エンゲージメント向上取組み、組織マネジメント力強化

全社風土・職場環境改善、ミドル管理職層の向上施策推進による人財育成と活用

設備投資総額 年間 25億円～50億円規模を計画

メディカル事業関連

成長戦略に基づく医薬品など
生産能力増強 生産性向上

- 医薬品製造設備
- 医療機器※製造設備

※絆創膏 医療施設向け粘着製品

テープ事業関連

老朽化設備更新
既存設備の効率化
脱溶剤推進

- コーティング処理剤製造設備（更新）
- 省人化・省力化対応設備
- 脱溶剤対応設備

I T 関連

AI・IoT積極活用
戦略的データ活用
基幹業務プロセス最適化

- 顧客/販売戦略支援システム
- 基幹業務システム（更新）

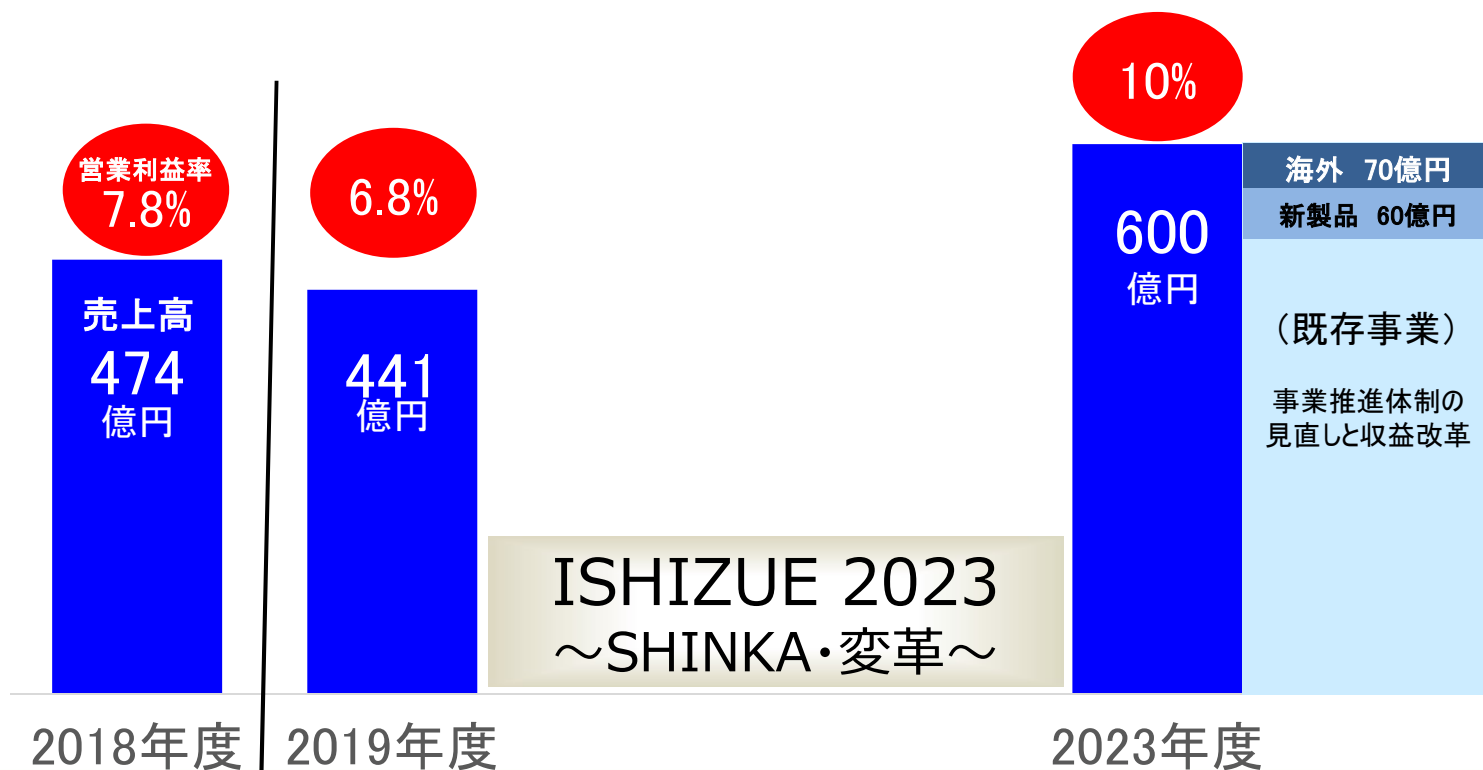
最終 2023年度目標

営業利益率 10%

売上高 600億円

R O E 10%

海外売上高 70億円 (10%以上)
新製品売上高 60億円 (10%)



ご参考：ニチバンについて

会社概要

- 創 業 1918年（大正7年）1月
- 事業概要 メディカル事業・テープ事業
- 資本金 5,451百万円
- 営業拠点 東京（本社）・大阪・名古屋・札幌・仙台・広島・福岡
- 生産拠点 埼玉工場・テープ安城工場・メディカル安城工場
- 従業員数 1,266名（連結）・759名（単体） ※2020年3月31日現在

- 子会社・関連会社
 - ニチバンプリント株式会社
 - ニチバンテクノ株式会社
 - ニチバンメディカル株式会社
 - NICHIBAN（THAILAND）CO.,LTD.
 - UNION THAI-NICHIBAN CO.,LTD.
 - 大東化工株式会社
 - 株式会社飯洋化工



ご参考：ニチバンについて

沿革

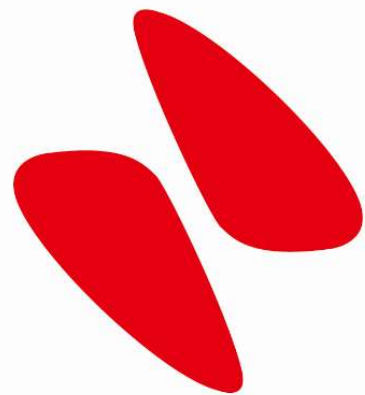
- 1918年 1月 東京都南品川に「歌橋製薬所」として創業
- 1934年12月 株式会社歌橋製薬所設立
- 1944年 9月 “絆創膏製造業企業整備令”により 全国の絆創膏製造業者（25社）が統合され「日絆工業株式会社」と改称
- 1948年 6月 登録商標『セロテープ®』の市販開始
- 1948年 6月 商号を「日絆薬品工業株式会社」と改称
- 1961年 1月 社名を「ニチバン株式会社」と改称
- 1968年 4月 東京・大阪株式市場第一部に上場
- 1976年 5月 「大鵬薬品工業株式会社」が資本参加
- 1993年 3月 決算期を11月から3月に変更
- 1994年10月 本社を東京都文京区関口に移転
- 2018年 1月 創業100周年

■ 注意事項

この資料には、当社の現在の計画や業績見通し等が含まれております
それら将来の計画や予想数値等は、現在入手可能な情報をもとに
当社が計画・予測したものです
実際の業績等は、今後の様々な条件・要素によりこの計画とは異なる場合が
あり、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません

■ お問い合わせ先

常務執行役員 経営企画室長 高橋泰彦
T E L： 03-5978-5625
E-mail: irinformation@nichiban.co.jp



NICHIBAN

**ぴったり技術で
明日をつくる**